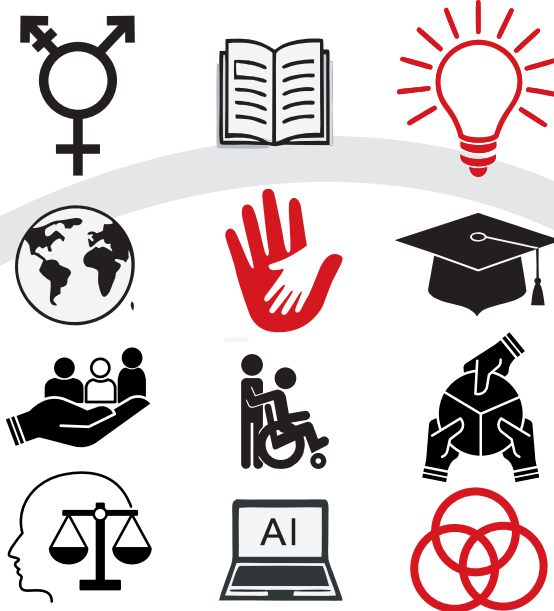


# How Universities Address Diversity: Innovation, Human Rights, and Intersectionality



大学が様々な背景を持ったあらゆる構成員にとって、安心して修学・研究・教育できる場であるために、大学はどのように「多様性」と向き合うべきなのか。これまで大学の「多様性」促進は、主に女性の登用や留学生の積極的受け入れ等によって展開し、「多様性」の促進がイノベーション等の学術の発展に不可欠であるという観点が強調されてきた。本シンポジウムではそうした有用性の観点からのみ多様性を推進するのではなく、大学の本質的な使命は人権の保障と真理の探究であるとの問題意識に基づき、「多様性」との向き合い方と大学の責任について多角的に議論を行う。

[日時] 2026年 **5月10日** (日) 13:00～17:00

[場所] 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木7-22-34)

※参加費無料 ※事前申し込み不要 (定員200人)

[総合司会] 島岡まな (大阪大学教授、日本学術会議第一部会員)

[開会挨拶] 芳賀満 (東北大学教授、日本学術会議第一部会員)

[趣旨説明] 後藤弘子 (千葉大学理事・副学長、日本学術会議特任連携会員)

[進行] 臼井恵美子 (一橋大学教授、日本学術会議第一部会員)

## 【第1部 基調講演】

「〈多様性〉を切り拓く: 根源的課題を問い続ける」

岩淵功一 (シドニー工科大学名誉客員教授)

## 【第2部 学長が語る大学の多様性】

[モデレーター] 高橋裕子 (津田塾大学学長、日本学術会議第一部会員)

[登壇者] 喜納育江 (琉球大学学長)

Diana Khor (ダイアナ・コー) (法政大学総長)

## 【第3部 パネルディスカッション】

[モデレーター] 三浦まり (上智大学教授、日本学術会議連携会員)

[ディスカッサント] 板垣竜太 (同志社大学教授)

神谷悠一 (LGBT法連合会、日本学術会議特任連携会員)

窪田幸子 (芦屋大学学長、日本学術会議連携会員)

申恵丰 (青山学院大学教授)

[閉会挨拶] 三尾裕子 (慶應義塾大学名誉教授、日本学術会議第一部会員)

[主催] 日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会 [連絡先] paritypolitics2026@gmail.com

日本学術会議公開シンポジウム  
**大学は多様性にどう向き合うのか**  
 イノベーション、人権、インターセクショナルリテイ

